

平成 30 年度決算・令和元年度予算執行状況

# すながわの家計簿

☎財政係Tel 54-2121



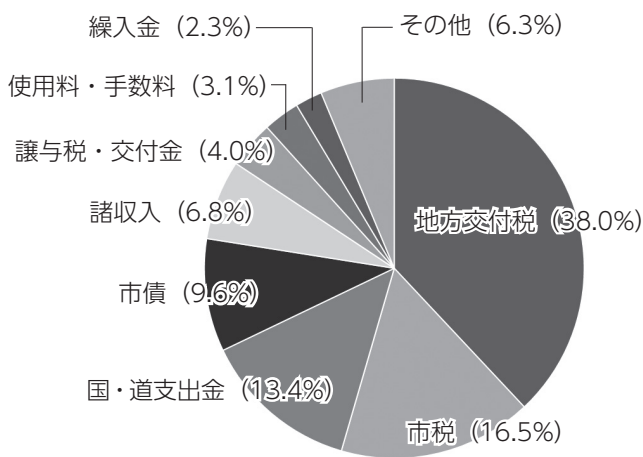
市では、皆さんから納めていただいている市税などの収入をもとに、さまざまな仕事（事業）を行っています。それがどのようなことにどれくらい使われているかなどを知っていただくため、毎年財政状況を公表しています。今回は、平成 30 年度決算および基金や市債の状況、令和元年度予算の 12 月末までの執行状況をお知らせします。

## 平成 30 年度一般会計決算状況

### 歳入

決算額 **125 億 9,895 万円**

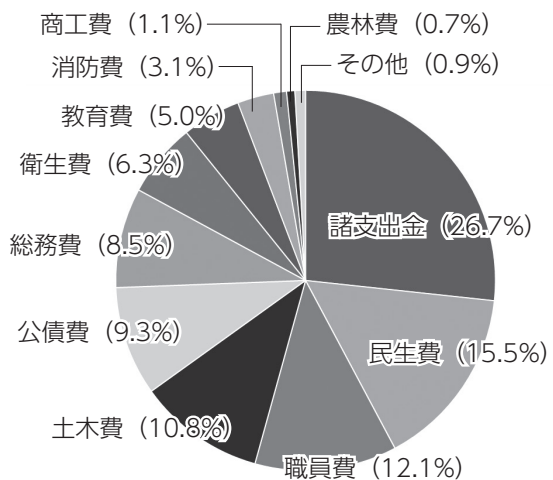
市の収入である歳入は、国や北海道から交付される地方交付税や国・道支出金、譲与税・交付金などの依存財源が 64.9%と全体の 7 割近くを占めています。将来にわたり安定的な財政運営を行っていくためにも、市税などの自主財源の確保が重要となっています。



### 歳出

決算額 **121 億 5,640 万円**

市の支出である歳出は、市立病院や後期高齢者医療保険、国民健康保険などに支出している諸支出金が 26.7%を占めています。続いて、生活保護や福祉医療、子育て支援などに使われる民生費が 15.5%を占めています。



科 目	主な内容	決算額
地方交付税	財源が不足する市町村へ国が配分するお金	47 億 8,127 万円
市 税	市民税や固定資産税	20 億 7,783 万円
国・道支出金	特定の事業に対して、国や道が支出する補助金	16 億 8,596 万円
市 債	市の借入金	12 億 590 万円
諸 収 入	貸付金元利収入	8 億 5,528 万円
譲 与 税 交 付 金	地方譲与税、地方消費税交付金	5 億 922 万円
使 用 料 手 数 料	住宅・体育施設使用料や住民票・ごみ処理手数料	3 億 8,768 万円
繰 入 金	貯金（基金）の取り崩し	2 億 9,580 万円
そ の 他	財産収入、繰越金	8 億 1 万円












科 目	主な内容	決算額
諸 支 出 金	特別会計などへの支出	32 億 4,956 万円
民 生 費	福祉サービスや子育て支援	18 億 8,678 万円
職 員 費	職員の給料・手当	14 億 7,123 万円
土 木 費	道路・公園などの整備、市営住宅の維持管理	13 億 861 万円
公 債 費	市が借りたお金の返済	11 億 3,446 万円
総 務 費	情報推進・選挙事務経費	10 億 2,736 万円
衛 生 費	ごみ収集や健診経費	7 億 6,438 万円
教 育 費	学校や社会教育の振興	6 億 1,340 万円
消 防 費	広域消防組合の負担金	3 億 7,262 万円
商 工 費	商工や観光の振興	1 億 3,247 万円
農 林 費	農林業や畜産の振興	8,578 万円
そ の 他	議会費・労働費	1 億 975 万円

## ●砂川市の財政を家計にたとえてみると

市の財政をより身近に感じられるように、平成30年度一般会計の決算額の構成率をもとに、ある家族の年間収入が300万円の家計簿を作成しました。

収入			支出		
給料 〔市税、交付税〕	… 54.5%	164万円	食費 〔職員費〕	… 12.1%	36万円
家族の収入など 〔諸収入、使用料など〕	… 16.2%	48万円	医療費 〔民生費〕	… 15.5%	47万円
実家からの仕送り 〔国・道支出金、交付金〕	… 17.4%	52万円	生活費 〔衛生費、教育費など〕	… 25.6%	77万円
ローンの借り入れ 〔市債〕	… 9.6%	29万円	家の補修・増改築 〔土木費〕	… 10.8%	32万円
貯金の取り崩し 〔繰入金〕	… 2.3%	7万円	子どもへの仕送り 〔諸支出金〕	… 26.7%	80万円
			ローンの返済 〔公債費〕	… 9.3%	28万円
		<b>合計 300万円</b>			<b>合計 300万円</b>
		返済後のローン残高 311万円			

## ●市民1人当たりに使われたお金

<b>議会費</b>  議会の運営など 5,886円	<b>民生費</b>  福祉の充実など 111,565円	<b>衛生費</b>  清掃や保健対策など 45,197円	<b>農林費</b>  農林業の振興など 5,072円	<b>商工費</b>  商工・観光振興など 7,833円	<b>土木費</b>  道路整備や除雪など 77,379円
<b>消防費</b>  消防車の整備など 22,033円	<b>教育費</b>  教育施設の管理など 36,270円	<b>公債費</b>  借入金の返済など 67,080円	<b>諸支出金</b>  病院への繰り出しなど 192,145円	<b>職員費</b>  職員の給料など 86,993円	<b>総務費</b> 60,747円 その他 603円

※金額は、一般会計の決算額を平成31年3月末人口16,912人で割ったものです。

**総額 718,803円**

## ●市の貯金と借金

平成30年度の市債残高は、前年度に比べ、一般会計では、1億4,450万円増加しました。これは、普通交付税の額に有利となる過疎対策事業債などの借り入れによるものです。

### ■基金（貯金）の状況

基金の種類	総額
財政調整基金	12億7,828万円
庁舎整備基金	10億4,702万円
減債基金	9,586万円
まちづくり事業基金	3億8,052万円
社会福祉事業振興基金	2億6,472万円
特別会計基金	1億4,788万円
計	32億1,428万円

### ■市債（借金）残高の状況

	一般会計	特別会計 (下水道事業)	企業会計 (病院事業)	総額
29年度	124億4,005万円	42億9,420万円	138億7,887万円	306億1,312万円
30年度	125億8,455万円	40億6,018万円	134億3,054万円	300億7,527万円
増減	1億4,450万円	△2億3,402万円	△4億4,833万円	△5億3,785万円

## ●財務書類からみた平成30年度の決算状況（一般会計）

平成30年度決算について、国から示された会計基準に基づき財務書類を公表します。財務書類は民間企業が作成する決算書と同様の考え方で作成されており、単年度収支では見えてこない市の資産や負債およびコストに関する情報が明らかになっています。

### 1 貸借対照表（市が保有する資産や将来返済する借金の状況などがわかります）

年度末に市が保有している、将来に市民へさまざまなサービスを提供するために利用する資産（財産）と、その資産を取得するための財源（負債、純資産）を示しています。資産の多くは学校などの公共施設や道路・公園などの公共インフラにより構成される有形固定資産が資産全体の8割以上を占めており、負債に計上されている地方債はこれらの公共施設や公共インフラの整備の財源とされた借金の残高です。

◆貸借対照表（平成31年3月31日現在） ※前年度との比較 (単位：百万円)

科 目	29年度	30年度	増減額	科 目	29年度	30年度	増減額
<b>固定資産</b>				<b>固定負債</b>			
有形固定資産（学校、道路など）	37,574	37,054	△ 520	地方債（翌々年度以降に返済する借金）	11,441	11,539	98
投資および出資金（中空知広域水道企業団などへの出資）	1,220	1,235	15	その他	726	652	△ 74
基金（将来の支出に備えた貯金）	1,888	2,223	335	<b>流動負債</b>			
その他	270	222	△ 48	地方債（翌年度に返済する借金）	998	1,046	48
<b>流動資産</b>				その他	169	208	39
現金預金（市の財布の中にあるお金）	454	494	40	<b>負債合計</b>	13,334	13,445	111
基金（お金が足りないときに利用する貯金）	1,416	1,278	△ 138	<b>純資産合計</b>	30,088	29,659	△ 429
棚卸資産（市が管理する分譲地）	578	578	-	<b>負債および純資産合計</b>	43,422	43,104	△ 318
その他	22	20	△ 2				
<b>資産合計</b>	43,422	43,104	△ 318				

平成30年度末現在で市が保有する資産の合計は、約431億400万円で、これは過去から現在までの間に形成した資産の合計額を表しています。流動資産に記載されている基金については、約1億3,800万円減少していますが、固定資産に記載されている基金については、庁舎整備基金へ約2億4,400万円の積立を行ったことにより増加しています。また、負債は約134億4,500万円で、これは将来世代が負担していくこととなります。

### 2 行政コスト計算書（市が市民に行政サービスを提供するために1年間に発生したコストがわかります）

市が1年間に市民へのサービスを行うために発生した費用と、このうち市民が直接的に負担した使用料などの収益を示しており、その差額を純行政コストとして算定しています。このコストは市民からの税金や国・道からの補助金により賄われています。

◆行政コスト計算書（平成30年4月1日～同31年3月31日） ※前年度との比較 (単位：百万円)

科 目	29年度	30年度	増減額	科 目	29年度	30年度	増減額
人件費（職員の給料など）	2,208	1,829	△ 379	使用料および手数料（市営住宅の家賃など）	391	384	△ 7
物件費等（除雪や施設維持などの経費）	3,175	3,076	△ 99	その他	226	102	△ 124
補助金等（消防・ごみ処理などの経費）	1,397	1,259	△ 138				
社会保障給付（自立支援給付金や児童手当など）	1,559	1,513	△ 46	<b>経常収益合計 イ</b>	617	486	△ 131
他会計への繰出金	2,476	2,494	18				
その他	176	137	△ 39	<b>臨時利益 工</b>	136	1	△ 135
<b>経常費用合計 ア</b>	10,991	10,308	△ 683	<b>純行政コスト アーイ+ウーエ</b>	10,351	9,830	△ 521
臨時損失 ウ	113	9	△ 104				

人件費の減少については、市職員の将来の退職手当の支給に係る将来負担額について、平成29年度に算定方法を修正したことにより一時的に増加したことが主な要因です。

### 3 市民1人当たりだとどのくらい？

市が保有する資産や借金の状況、1年間に発生するコストを市民1人当たり換算すると右記のようになります。

詳しい財務書類は、市ホームページ内の「市政情報」→「財政状況」をご覧ください。

項 目	平成29年度	平成30年度
人口（年度末）	17,185人	16,912人
資 産	252万7千円	254万8千円
負 債	77万6千円	79万4千円
純 資 産	175万1千円	175万3千円
純行政コスト	60万2千円	58万1千円

## ●平成30年度特別・企業会計決算状況

### ■特別会計

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	21億6,459万円	21億2,112万円
下水道事業	6億5,737万円	6億1,824万円
介護保険	17億9,724万円	17億7,069万円
後期高齢者医療	5億8,812万円	5億8,810万円

### ■企業会計

病院事業	収入	支出
収益的収支	136億6,407万円	140億2,472万円
資本的収支	9億6,907万円	14億1,835万円

病院事業の収益的収支不足分は、病院建築に伴う多額の減価償却費の計上によるものです。また、資本的収支不足分は、内部留保資金により補てんされており、健全経営を行っています。

## ●平成30年度決算に基づく健全化判断比率など

地方公共団体財政健全化法に基づきいずれの指標も基準値を下回っています。将来負担比率は、公共施設の建設に伴う市債残高の増加により、前年度より2.1ポイント高い17.0%となりましたが、実質公債費比率は、前年度より1.2ポイント低い4.6%となり、前年度に引き続き、比率は低下しています。

指 標	健全化判断比率				資金不足比率	
	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	下水道事業	病院事業
説 明	一般会計などの赤字状況	すべての会計を合算した市全体の赤字状況	市の収入に占める借金の返済状況	市が将来負担しなければならない借りたお金などの状況	公営企業の収益に対する資金不足額の状況	
早期（経営）健全化基準	14.16%	19.16%	25.0%	350.0%	20.0%	20.0%
砂川市の比率	—— (赤字なし)	—— (赤字なし)	4.6%	17.0%	—— (不足なし)	—— (不足なし)

## 令和元年度会計の執行状況（令和元年12月末現在）

## ▶一般会計

## ◆歳入

科 目	予算額	収入済額	執行率
地方交付税	45億8,600万円	45億5,826万円	99.4%
市 税	20億3,163万円	14億8,725万円	73.2%
国・道支出金	18億7,732万円	9億9,067万円	52.8%
市 債	13億5,820万円	0万円	0.0%
諸 収 入	9億5,549万円	6,276万円	6.6%
譲与税・交付金	5億3,459万円	3億4,670万円	64.9%
繰 入 金	4億3,366万円	0万円	0.0%
使用料・手数料	3億7,784万円	2億6,020万円	68.9%
そ の 他	5億4,875万円	8億1,918万円	149.3%
計	127億 348万円	85億2,502万円	67.1%

■一般会計とは…市税や地方交付税を主な収入財源として、行政運営の基本的な経費や事務事業を網羅して経理する会計です

## ▶特別会計

会計名	予算額	収入済額		執行率
		収入済額	支出済額	
国民健康保険	21億7,331万円	12億3,969万円	57.0%	
		14億3,238万円	65.9%	
介護保険	19億4,062万円	10億6,456万円	54.9%	
		12億1,852万円	62.8%	
後期高齢者医療	6億 957万円	4億3,562万円	71.5%	
		4億2,791万円	70.2%	

■特別会計とは…特定の事業や特定の収入で事業を行う場合に、一般会計と区別して経理を行っている会計です

## ◆歳出

科 目	予算額	支出済額	執行率
諸 支 出 金	33億6,628万円	15億5,002万円	46.0%
民 生 費	21億7,033万円	13億6,054万円	62.7%
職 員 費	15億4,815万円	12億2,789万円	79.3%
土 木 費	14億4,633万円	8億3,212万円	57.5%
公 債 費	11億1,171万円	5億5,998万円	50.4%
総 務 費	9億2,900万円	5億1,042万円	54.9%
衛 生 費	7億3,158万円	5億5,456万円	75.8%
教 育 費	6億3,150万円	4億 506万円	64.1%
消 防 費	3億8,196万円	2億8,499万円	74.6%
商 工 費	1億5,595万円	1億1,225万円	72.0%
農 林 費	1億1,181万円	7,121万円	63.7%
議 会 費	1億 220万円	8,224万円	80.5%
そ の 他	1,668万円	857万円	51.4%
計	127億 348万円	75億5,985万円	59.5%

## ▶企業会計

下水道事業		予算額	執行済額	執行率
収益的	収入	7億8,439万円	4億9,316万円	62.9%
	支出	5億6,973万円	1億1,768万円	20.7%
資本的	収入	1億9,883万円	2,095万円	10.5%
	支出	5億6,024万円	3億1,365万円	56.0%

病院事業		予算額	執行済額	執行率
収益的	収入	132億 907万円	95億6,316万円	72.4%
	支出	145億6,113万円	98億3,266万円	67.5%
資本的	収入	9億1,351万円	4,317万円	4.7%
	支出	14億2,832万円	9億2,361万円	64.7%

■企業会計とは…株式会社など民間企業の会計手法を取り入れ、独立採算制を原則とする会計で病院の場合は診療収入などにより運営しています

※市の財政状況は、市ホームページでも公表していますので、ご覧ください。